

今どきの、猫の飼い方

猫だって社会の一員です。

迷惑にならないようマナーを守って安全に飼いましょう。

1

今どきは、完全室内飼育

「外に出してあげないとかわいそう」と思う方も多いと思いますが、猫は狭いなわばりでもストレスなく生きていける動物です。室内飼育の猫がストレスを感じて病気になったという話は聞いたことがありません。

登り降りの運動ができる場所と外が見える窓が大好きですのでそんな場所を用意してあげてください。

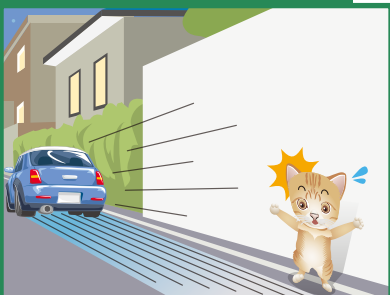
猫が好きな爪とぎを用意すれば、家具が傷つけられることもありません。外に出る猫は、交通事故

や病気のリスクが高く、寿命は室内飼育の半分くらいと言われています。

また、最近の飼育用具は進化していてトイレの始末も大変簡単ですし、家の中で飼ってもフン尿のニオイがしなくなりました。猫は大変きれい好きです。トイレはこまめに掃除してあげてください。

メリット

- ①交通事故に遭わない
- ②フン尿や鳴き声で近所迷惑になることがない
- ③猫が病気にかかりにくくなり長生きできる



2

今どきは、不妊去勢手術をして飼う

「手術するのはかわいそう」、「自然に任せるのがいい」と思う方もいるでしょうが、実際には手術をした方が、猫も飼い主さんもストレスなく幸せに暮らせます。子猫は生後6ヶ月ほどで妊娠可能となり、発情期のメス猫は大きな声で鳴きますが、この時に外に出してしまうと、ほぼ100%妊娠します。猫の妊娠期間はわずか60日、年2〜3回妊娠し、1回に4〜8匹出産します！

生まれてきた子猫の飼い主をすべてを見つけることは大変難しく、たくさんの子猫たちが処分されています。手術をしないで責任の持てない命の繁殖を許すことは、何の罪もない命を奪うことと同じです。

メリット

- ①子供が生まれることがない
- ②オスはスプレー（マーキング）行動をしなくなる
- ③発情期特有の大きな鳴き声がない
- ④「恋人より飼い主が大好き」で生涯を過ごすことができる



3

今どきは、首輪と迷子札

「外に出さないんだから着けない」という飼い主さんもいらっしゃいますが、動物愛護センターには、「猫がいなくなった」という相談が毎日のように寄せられます。

「もしも」の時のために迷子札を着け、飼い主の名前と電話番号がわかるようにしておきましょう。



猫に関するお悩み、困りごとはお気軽に
下記にご相談ください。

新潟県動物愛護センター

長岡市関原町1-2663-6 TEL.0258-21-5501

下越動物保護管理センター 新発田市奥山新保430

TEL.0254-24-0207

上越動物保護管理センター 上越市中正善寺1340

TEL.025-525-9263

佐渡保健所生活衛生課 佐渡市相川二町目浜町20-1

TEL.0259-74-3399

のら猫のフンなどで お困りの方へ

「のら猫や近所の飼い猫が、フンをしたり住居へ侵入して困っている」等の話を耳にします。

のら猫が住み着く原因

それは、「猫にとって住みやすい環境」にあるということです。

1) 誰かがエサをあげている。

※エサを与えている方も、飼い主と同様に猫の管理者として責任があります。

2) 飼い猫のエサをあさっている。

3) 家庭から出される食べ残しが、ごみステーションや畑に放置されている。

行政の対応

猫は犬と違い、首輪を着けたりつないで飼うことが法律で義務付けられていないため、のら猫と飼い猫との見分けをすることは、ほぼ不可能です。

また、処分目的で勝手にのら猫と判断して捕獲することは「動物虐待」にあたることから、**動物愛護センターや保健所、市町村役場では猫の捕獲はしていません。**

したがって、**被害を受けている方が、自ら追い払っていただくしか方法がありません。**

猫が寄ってこない
ようにするには

猫は、強いにおいがキライです。(洗剤やトイレの芳香剤、香水等のにおいの強いもの。)

例: 家庭で使用している洗濯洗剤(粉剤)を家の敷地(猫の通り道)に撒く。

※洗剤は、においと水分を含んだ際のベタつき感を嫌がりますので猫が飛び越えられない幅で地面に直接撒き、雨等で減ってきたら追加して撒いてください。

猫をふやさないで！

動物愛護センターには行き場のない猫たちが年間1,000匹以上収容されます。なぜ、センターに来るのでしょうか？

新潟県内でも、迷い猫に餌をあげていたら出産し、それを放置していたら1年で20匹以上になってしまったとの相談が寄せられています。餌を与えるなら、猫の保護者として必ず不妊去勢手術を行い、ご近所に迷惑にならないようトイレを作ってフンやオシッコの面倒も見せてあげてください。



猫のご近所の皆様へ

猫を迷惑に思っている方もいるとは思いますが、猫も被害者なのです。元飼い猫が、心ない飼い主に捨てられ、つらくキビシイ「のら生活」を送っているのです。外猫は寒さや病気、交通事故のため、寿命は3~5年ほどと言われています。繁殖さえしなければ、長い間迷惑をかけるものではありません。憎むばかりでなく、温かく見守ってくださるようお願いいたします。